

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 16 日作成)

小委員会名	建築人間工学小委員会	主 査 名：後藤 義明 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：大原 一興 主 査 名：山田 哲弥
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築空間・設備機器・家具の安全性や快適性の実現に必要な人間工学関連の知見を蓄積・更新し、これらを供給者ならびに生活者に提言することを目的とする。</li> <li>・ 小委員会の開催と建築人間工学の若手研究者の支援</li> <li>・ 建築人間工学研究会の開催</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 主査：後藤義明 (岡山理科大学)、幹事：嶋田拓 (明野設備研究所)、遠田敦 (日本大学) 委員：老田智美 (NATS 環境デザイン)、岡田明 (大阪市立大学大学院)、古賀紀江 (関東学院大学)、古瀬敏、佐野友紀 (早稲田大学)、白石光昭 (千葉工大)、田中直人 (島根大学)、布田健 (国総研 NILIM)、畠山雄豪 (職業能力開発総合大学校)、飯塚裕介 (大東文化大学)、山崎晋 (小山高専)、吉岡陽介 (千葉大)	
設置 WG (WG 名：目的)	「情報技術を利用した人間工学的建築評価手法 WG」計測機器や VE に関する研究成果を集め、計測機器の精度等を評価し、VE 技術の新たな可能性を検討する。 「人間特性の多様性に着目した設計事例・基準検討 WG」多様な人間特性に着目し、これらの特性から導かれるデザイン事例を検証するとともに、関連する設計基準の現状と規定内容について検討する。	
2016 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s23/">http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s23/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	第 62 回建築人間工学小委員会研究会「没入型仮想環境は何を可能にするか？」 10 月 29 日 (土) 13:00 ～ 17:30 参加者数 30 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 研究会開催：開催回数は 1 回。(活動計画 2 回予定) 2. 小委員会開催：4 回開催。(活動計画 4 回予定)
委員会活動の問題点 ・課題	1. 出席状況は改善されつつあるので、引き続き研究談話などを積極的に行う 2. WG の活動を促進する。